

あおいだより

2017年
5月号

発行
アメニティ
委員会
葵の園・我孫子



お花見

葵の園・我孫子は開設から10年を迎える今年、施設に植えている桜もだいぶ成長し、見事な桜の花を咲かせるまでになりました。

毎年、手賀沼公園やふるさと公園へお花見に行っていました。今年も施設の桜でお花見をすることにしました。予定していた日程に桜は咲かず、開花を心待ちにしていました。

4月10日、桜も満開を迎え、2日間お花見を行いました。

まだ、吹く風も冷たく、枝をゆらす程の強い風の日もありましたが、皆様とても喜ばれ、「お花見ができてよかったです」、「やっと春がきたんですね、綺麗な桜をこんな間近で見ることができて嬉しい」といったお言葉をいただき、職員も入居者様と一緒に楽しい時間を過ごさせていただきました。



今回は、甘酒やさくら湯を飲み、お菓子を食べながらのお花見でとても好評でした。
来年も施設内でのお花見を企画したいと考えておりますので、入居者様に喜んでいただけるよう取り組んで参りたいと思います

介護主任 矢田雄介



今年の4月からユニットの一部にベンチが置かれるようになりました。今までは1F事務所に置かれていました。ベンチがユニットに移動した事で、今まで自分の席で座っていた入所者様が、陽だまりの中で外の景色を眺め、四季を感じ、会話を弾ませる。そんなワンシーンを垣間見る事が出来ます。



もちろん御家族様、ご友人様が来られた時も利用されています。

少し前までは、窓から桜やこぶしの花が見えていました。また、暖かい季節になり、近くの保育園の園児達がお散歩に出掛ける元気な姿をみせてくれます。

このような素敵な場所がきっとありますので、来所された際にはぜひ探してみてください。



2020年の東京オリンピック決定以来、日本を訪れる外国人を取り上げるテレビ番組が増えた気がします。それと同時に外国人には不思議に映るのである「匠」と呼ばれる日本人や伝統・文化を育む日本人独特の考えが取り上げられる機会も多くなりました。

とかく日本人は自分たちが行うことを『道』に例え、茶道・華道、柔道などその『道』を長年探求することで人格形成や宗教の真理のような、目に見えない“何か”を手に入れようとする性質やこだわりを持つことが多いようです。

私自身どっぷり日本人であり、かれこれ40年近く空手道という『道』をさまよっています。匠とまではいきませんが、ずいぶん長い年月がたちました。そして2020年のオリンピックでは、この空手道が正式種目としてエントリーされました。誰もが楽しめ、親しめるスポーツ（カラテ）として発展することはとてもうれしいことです。しかし道を彷徨い答えを探す（空手）。道をきわめる。その時間が歴史となり、伝統や文化へと変化する過程を身をもって感じる、何かを得るために厳しい環境に身を置き努力する感覚も捨てがたく複雑な思いがあります。



デイケア作品紹介

デイケアでは皆で1つの作品を作成。また月に1度、外部講師に依頼し、希望者と一緒に小物作成を行っています。今年は何年にもなみ『グーグーガンモ』を作成しました。



事務長 飯野

この複雑な思いこそが『道』半ばの未熟さなのか？などと思ったりもします。そして、そんな感覚が外国人に不思議がられる日本人らしさなのかもしれません。日本人を不思議に思う外国人同様に私達にも不思議に映る外国人の行動や習慣があります。これからオリンピックに向けて身近にも外国人の観光客がふえ、いろいろな交流が増えそうでも楽しみます。



今月の予定

【お知らせ】

- ・エコ給湯タンク増設工事
(4/26～5/15)
- ・館内ワックス清掃
(5/1～5/15)
- ・消防設備点検
(5/13 AM10:00)

【行事予定】

- ・ハートウイール（訪問美容）
- ・1F ユニット行事 5/22
- ・3A ユニット行事 5/31



※個人情報、写真掲載については事前に承諾を頂いております